

武道授業における複数種目指導 実践研究（事例報告）

<h2 style="margin: 0;">なぎなた・柔道</h2> <p style="margin: 0;">複数種目に触れることで、武道に対するの 興味・関心を向上させる授業づくり</p>	<p style="margin: 0;">下関市立長府中学校（山口県）</p> <p style="margin: 0;">電話番号 083（246）2157</p> <p style="margin: 0;">メールアドレス chofu-chu@edu.city.shimonoseki.yamaguchi.jp</p>
--	--

●実践研究のねらい

- 地域スポーツ指導者を活用することで、生徒がなぎなたと柔道に関する知識や技能を学ぶとともに地域の特色・人材を生かし、伝統的に親しまれてきたなぎなた文化の伝承を図る。
- 地域スポーツ指導者と連携して授業を行うことで、保健体育教諭の専門的な知識や技能の習得による指導力の向上を図る。

●複数種目指導モデル 第2学年（5学級155名）

		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10				
種目		なぎなた										種目		柔道													
学習の流れ	オリエンテーション（なぎなた・柔道）	導入（挨拶、ストレッチ体操、補強運動）										学習の流れ	オリエンテーション（柔道）	導入（挨拶、健康観察、本時のめあての確認）													
		本時のめあて確認（学習の見通し）												準備運動		準備運動、補強運動、受け身の練習											
		基本の構え		基本の構え		基本の構え		基本の構え		基本の構え				基本の構え		基本の構え		基本の構え		基本の構え		基本の構え		基本の構え		基本の構え	
		基本の構え		基本の構え		基本の構え		基本の構え		基本の構え				基本の構え		基本の構え		基本の構え		基本の構え		基本の構え		基本の構え		基本の構え	
		基本の構え		基本の構え		基本の構え		基本の構え		基本の構え				基本の構え		基本の構え		基本の構え		基本の構え		基本の構え		基本の構え		基本の構え	
		整理運動・本時の振り返り・次時の連絡・挨拶												整理（整理運動、本時の振り返り、次時の連絡、挨拶）													

●指導の工夫

- 1 効果的に指導するための工夫
 - 1時間目に2学年全体でオリエンテーションを行った。なぎなたでは、面・小手・胴・脛の4つの打突技を実演した。柔道では3人の師範が技を一つひとつ実演を交えながら丁寧に説明した。実演をすることで生徒の関心を高めた。
- 2 生徒の安全を確保するための工夫
 - 本事業が始まる前に、地域スポーツ指導者の方と不備はないか点検を行った。
 - 毎時間、なぎなたを扱う前に「人の後ろに立っていないか」「左右の距離は十分か」等各自で確認をさせた。また、地域スポーツ指導者と教員とが連携をして2人態勢で安全確保に当たった。
 - 服装の工夫としてジャージ上下を着用させ、なぎなたや畳が直接肌に当たらないようにした。

●授業の様子



【 オリエンテーション 】

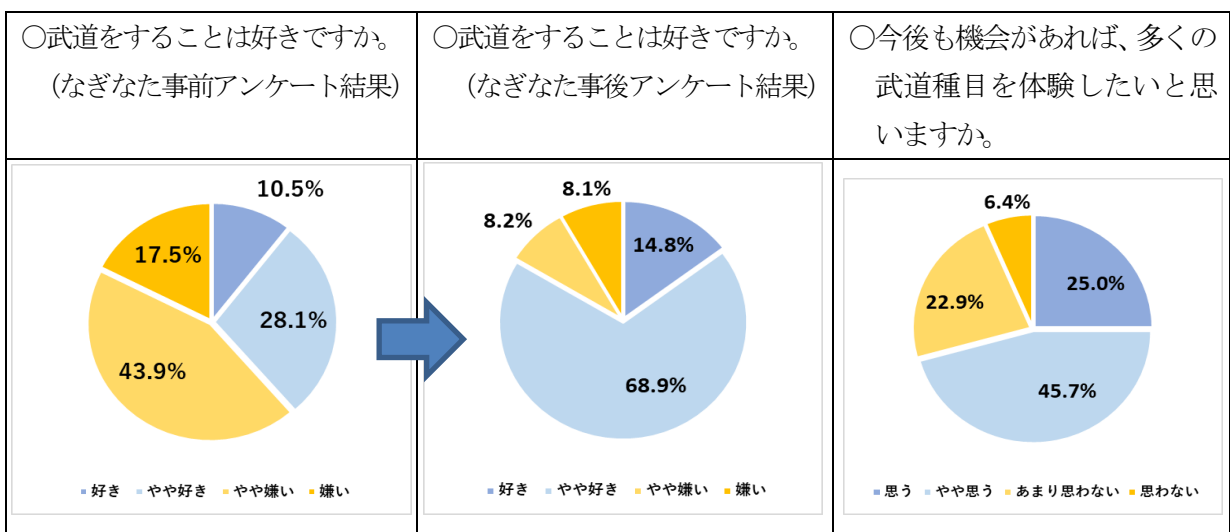
体育館でなぎなた・柔道の実演を見学。なぎなた・柔道の特性や歴史などについて、地域スポーツ指導者から直接話を聞くことにより、武道への関心を高められるようにした。



【 地域指導者と対人練習 】

地域スポーツ指導者と対人練習（打ち返し）をし、アドバイスもらった。

●生徒の意識、感想



●成果と課題

- 授業の中で「礼に始まり、礼に終わる」「相手を尊重する心」など礼儀作法や人として大切なことを学んだ。相手と相対したときには、礼を大切に授業に取り組む姿勢がみられた。
- なぎなたでは、「武道をすることは好きですか。」というアンケートに対して、武道の授業が始まる前では「好き・やや好き」が4割程度だったが、授業終了後は「好き・やや好き」が8割以上を占めている。また、「今後も機会があれば多くの武道種目を体験したいですか。」というアンケートに対しても7割以上が「思う・やや思う」と回答している。これは、地域スポーツ指導者の専門的な授業を受けての意識変化だと考える。
- 本事業で武道に興味・関心をもった生徒が増加し、機会があればまたしたいという生徒も多くいた。しかし、道具の準備や場の設定をしなければ取り組めないというのが実態である。生涯スポーツとして取り組むにはどのように繋げるかが課題である。

